



はくび通信

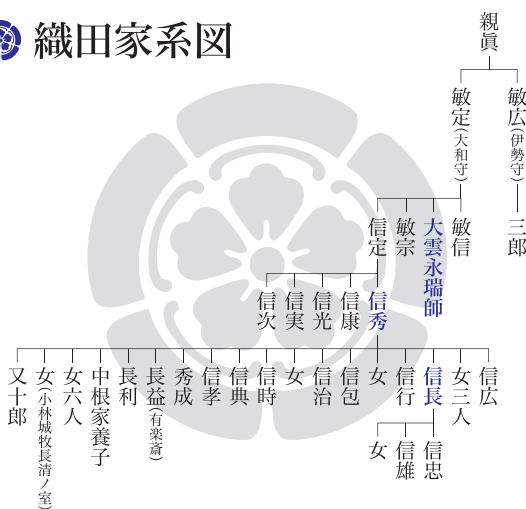
Year 2017年
Season 春号

万松寺を開いた戦国武将 織田信秀



万松寺蔵

織田家系図



織田家は尾張の国の守護代の家柄でありましたが、信秀（信長の父）はその一族とはいえ、守護代ではなく織田家の支流のまた支流というべき立場でした。しかし、才・智・勇にたけた信秀は、時代の傾向を先取り、実力で尾張の織田を統一したと言われていいます。風貌は当寺に現存する木像から見ると、体形はややふくよか。荒々しく鋭い顔立ちながらも、温容さを兼ね備えた好男子であったようです。

信秀が三十歳の時、天文九年（一五四〇）に戦国の世において自身の心身平穏を願い、伯父にあたる大雲永瑞和尚を迎え万松寺は創建されました。



▲友情出演 / 憲俊
名古屋おもてなし武将隊の初代信長。現在は演劇ユニット「SCANP」のリーダーなど幅広く活躍中！

信秀公の最期

信長に嫁を迎え入れ、弟・信行を末森城に呼び入れた頃から、信秀は戦火の中過ごしたこれまでの疲れが押し寄せて来るような体の不調を感じ始め、天文二十一年（一五五二）三月三日、突然の病で亡くなりました。享年は四二歳でした。

信秀の葬儀は自らが開いた万松寺で行われました。三百人を超える僧侶らが読経する中、中央には住職大雲永瑞和尚、そして親族は土田御前（信秀の正室、信長の母）、濃姫、信秀の側室、子・信行、信包らがずらりと並び、七百名の家中の人が参列。ところが、喪主の信長が一向に現れません。焼香の時間が近づき、皆が緊張に包まれた時、ようやく本堂に信長が現れました。しかし、その姿は袴ではなく、茶筌まきの髪、腰に荒縄の帯、長束の太刀と脇差をさし、葬儀の場には全くふさわしくない服装でした。突然現れた信長は、抹香を大きく手づかみにするなり、いきなり信秀の位牌に投げつけました。この時、信長は十八歳。この葬儀での振る舞いによって、信長は「うつけ者」だという噂がさらに高まる事になりました。

万松寺でめぐる

信秀公のゆかり

その一 信秀忌

信秀の命日である三月三日に、万松寺では信秀忌という命日供養を毎年行っております。こちらの法要は一般の方にもご参加頂けます。是非ご焼香ください。（三月三日午前十一時〜）

その二 信秀墓碑

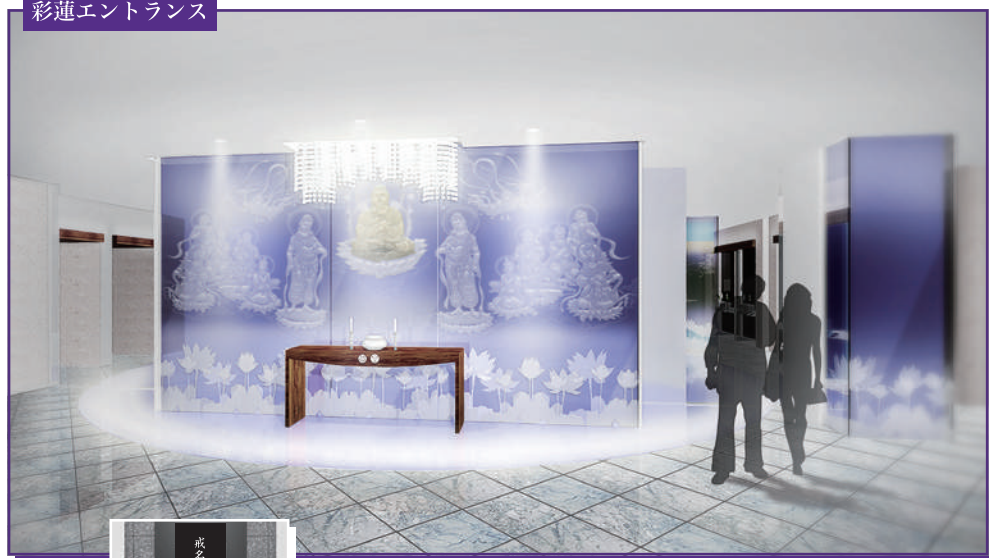
万松寺には信秀の墓碑があります。現在諸堂工事中につき未公開ですが、二〇一七年夏頃には一般公開再開を予定しております。



その三 菩提所ご朱印

お参りを終えたら、受処にて御朱印を。徳川初代尾張公夫人・春姫の菩提寺でもある万松寺の菩提所朱印は織田家と徳川家の家紋印が押される貴重な御朱印です。





様々なタイプを 選べる納骨堂

正面の家名が記される石碑部分の透過型パネルには、家名や戒名がゆっくりと浮かび上がります。

白龍館 彩蓮では自動搬送式の納骨システムを採用。一般的な墓石型参拝ブースの他に仏壇型や関東型(※) 特別参拝室等、様々なタイプの参拝ブースをお選び頂けます。※関東地区の風習に添って全骨納骨が可能。

GRAND OPEN

2017 年
4月下旬

グランド
オープン

万松寺納骨堂 白龍館 彩蓮くさいれんく

新納骨堂の魅力紹介

多様化するお墓・供養のニーズにお応えできるよう、万松寺納骨堂に新しいタイプの納骨堂が登場します。これまでになく高いデザイン性とバリエーション豊かな参拝ブースを兼ね備えた最新の納骨堂をご紹介します。

受付



特別参拝室



阿弥陀堂



最新の セキュリティー システム

受付では顔認証セキュリティシステムを採用する事により、従来の納骨堂のように IC カードを持ち歩く必要が無く、気軽に手ぶらでお越し頂けます。



高性能の顔認証システムにより、安心して参拝頂けます。

完全個室の 参拝室

モダンタイプから絢爛豪華なハイクラスタイプまで完全個室の参拝室を多数ご用意。ゆったりとお参り頂けるご家族様のためのプライベート空間です。



モダンな墓石タイプは落ち着いた洗練されたイメージです。

幻想的な 阿弥陀堂

彩蓮内には、お骨を位牌に納めて供養する新しいシステムを採用した阿弥陀堂もございます。赤青緑の三色を組み合わせデザインしたカラービット (R) システムを採用し、位牌の位置や状況を個別に管理します。



位牌型の納骨箱。上部にカラービットを装飾。

納骨堂 乗換えサービスが始まります

白龍館彩蓮のオープンに伴い、現在納骨堂ご契約の方に限り納骨壇の変更が可能になります。万松寺ではじめてとなる自動搬送式の納骨堂へ、少ない負担で乗換えできるプランをご用意しております。資料送付希望の契約者様は上記の専用ダイヤルにご連絡ください。

【専用ダイヤル】
0120-157-942
【受付時間】
9:30～19:30
(年中無休)

